

岡部杯 男子回転

【小樽】国際スキー連盟(FIS)公認大会として今季道内最終戦となるアルペンスキーの「岡部杯」は29日、小樽天狗山スキー場で開幕し、男女の回転を行った。男子は大越龍之介(道東海大)が1回目2位から逆転し、合計タイム1分40秒16で初優勝した。

W杯遠征組の佐々木明(PJM、北照高出)は2位、トリノ五輪4位の皆川賢太郎(アルビレックス新潟、北照高出)は3位。世界ジュニア選手権回転銅メダルの石井智也(北照高)が4位に入り、W杯組の生田康宏(東京実業)は5位だった。女子は武田未波(JWSSC一札第一高)が4年ぶり2度目の優勝を飾った。

30日の最終日は回転第2戦を行う。

W杯から帰国後初レースで2位と3位に入った佐々木(右)と皆川(玉田順一撮影)

大越 W杯組抑え初V



第二の故郷で貫録の滑り

W杯で海外を転戦した北照高OBの佐々木と皆川はそれぞれ2位と3位。日本の両エースが「第二の故郷」である小樽を十分に盛り上げた。W杯の全日程を終え、帰国したばかりで体調は万全ではなかったが、先輩の皆川は賞金十分の滑りで1回目トップ。30番スタートだった2回目は、春の緩んだ雪で薄のできたコース。順位を落として

大越 攻め貫き大差

佐々木、皆川らW杯組を押しつけて男子で優勝したのは、若手の成長株・大越だった。1回目は2位。2回目は「途中棄権してもいいという気持ちで、イチかバチかの滑りをしよう」と、荒れた攻めの滑りを貫いた。2位の佐々木には0秒83の大差を付け、「自分

坂田判定3度目防衛

FWB級 A

Table with names and numbers, likely a race result table for the '坂田判定' event.



攻めの滑りで逆転優勝した大越の2回目

Table listing names and times for various categories, including '男子回転' and '女子回転'.